

既成概念に捉われずに生まれた 心と健康を支えるオンライン

株式会社 Kids Public

採択テーマ ▶ 小児遠隔医療相談「小児科オンライン」の提供事業

子育ての悩みや不安の多い保護者と子どもたちを守りたいという思いから立ち上がった会社。小児科医としての経験を積んできた代表を中心に、同じ課題意識を持つ小児科医・産婦人科医・助産師たちが結集して「小児科オンライン」「産婦人科オンライン」などのネットワークを構築した。安心のオンラインが、多くの人々の心と健康を支えている。

キーワード ▶ 子育てにおいて誰も孤立しない社会の実現へ



代表取締役：橋本直也さん(中)
広報担当：川畑朱里さん(左)
法人担当：荒金有香さん(右)



「小児科オンライン」は2016年5月からサービスを開始。ユーザーは電話やテレビ電話、チャットなどを用いて、自宅から「子どもの健康や子育ての不安」を小児科医に相談できる。



「産婦人科オンライン」は2018年11月からサービスを開始した。



2020年5月1日から6月26日までは、経済産業省からの委託を受け、全国民に遠隔健康医療相談を無償で提供した(同年8月31日まで延長し、現在は終了)。

◆ 支援によって「小児科オンライン」の大幅改良を実現

2015年に創業した会社であり、「小児科オンライン」という小児科に特化した遠隔医療相談サービスを開発。まだ2期目のタイミングで革新的サービスの事業化支援を受けた。代表取締役の橋本直也さんは当時を振り返り「まだ売上もそんなに立っていない状況でしたが、システム開発への投資は必要でした。当初、電子カルテと連動できていなかった点を改良し、相談記録を次回以降の対応に活用できるようにするなど、軍資金の調達が必要だったのです」と語る。そこで事業化支援を受け、ユーザーの使いやすさが向上するなどの大きな成果を得た。

◆ 実現させたいと願っていた「産婦人科オンライン」も

さらに新たに「産婦人科オンライン」を立ち上げることもできた。橋本さんは「妊娠、出産、子育てで孤立してしまう人をなくしたいという想いでやっています。出産前からオンラインでつながった方が、サポートできる人は増えます。ですから、産婦人科の相談も小児科の延長線上にあったのです。ずっとやりたかったことにチャレンジできたのも、公社の支援があったから。資金力で強気にサポートしてもらい、さらに大きな一歩を踏み出せました」と語る。今までの医療分野の既成概念に捉われない挑戦が、しっかりサービスとなって結実した。

◆ ますますニーズが高まり注目を集めるオンライン医療相談

そしてオンラインの世界に留まらず、かかりつけクリニックへの情報連携システムも事業化支援によって開発し、対面する医師が患者の状況を把握した上で診察することを可能にした。「今後はさらにこのサービスが届く人を増やしたい」と語る橋本さん。新型コロナウイルスの流行もあり、家に居ながらして不安を解消できるオンライン医療相談へのニーズはさらに高まり、注目を集めている。「こちらの想いが正しいという自信はあっても、ビジネスとして成立するか不安な時に、支援を受けたのは大きかったです」と笑顔を見せる橋本さんだった。



しっかりした理念のある会社で、保護者、医療現場、健康保険の「三方よし」の構造を目指したサービスです。経済産業省の新型コロナウイルス対策としての事業委託も受けました。今後はさらに医療の適正化に貢献する社会インフラとなることが期待されます。

会社概要

所在地 ● 東京都千代田区神田小川町1-8-14 神田新富嶋ビル4F TEL ● 03-4405-9862 URL ● <https://syounika.jp>
代表取締役 ● 橋本直也 設立 ● 2015年12月 資本金 ● 600万円